

(計画名)	伊賀区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	三 重 県
<p>(地域の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 産業や住民生活の基盤となり、近畿圏・中部圏の各府県との交流・連携を支える道路、鉄道網の整備が必要である。 ○ 豊かな自然や歴史文化などの資源を活用した地域づくりを行うとともに、近畿圏・中部圏の結節点に位置する利点を活かした集客交流への取組が必要である。 ○ 本区域を流れる木津川流域において、住民が安全・安心して生活できるよう治水対策が必要であるとともに、貴重な水源として、一層の水質の保全、改善に努める必要がある。 ○ 魅力ある産業の創出や雇用の場の確保とともに、魅力ある都市づくり、資源循環型社会の構築が課題である。 <p>(計画の概要)</p> <p>(1) ネットワークの形成のための基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 名阪国道の高速機能の確保など東西方向の交通体系の充実に加え、本区域から名神、第二名神高速道路へのアクセスとなる<u>名神名阪連絡道路の調査</u>など南北方向の交通体系の整備を推進する。 ○ 中部圏と近畿圏を最短距離で結ぶ<u>西日本旅客鉄道関西本線の複線電化</u>や<u>近畿日本鉄道伊賀線の輸送サービス</u>等の向上について検討していく。 <p>(2) 地域経済を支える産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究開発機能を有した企業や環境に配慮した企業誘致を推進する。さらに、医療・健康・福祉産業の集積、連携を図る<u>メディカルバレー構想等の推進</u>を図る。 ○ 地域内で生産された物産に市場競争力と文化的価値を備えることで、<u>伊賀ブランドを確立し、戦略的に発信</u>する。 <p>(3) 訪れたい地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宿泊機能の充実や<u>観光施設間の広域ネットワーク化</u>を推進し、観光需用の多様化に応じた魅力の提供を図る。 <p>(4) 快適なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>ユニバーサルデザインのまちづくり</u>を推進するとともに、公共下水道、都市公園等の都市基盤の整備を進める。 <p>(5) 環境保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を促進するとともに、ごみの発生が抑制され、排出された不要物は最大限資源として利用される「<u>ごみゼロ社会</u>」の実現のために住民、事業者、市と協働して取り組む。 ○ 公共下水道等の生活排水対策により、<u>木津川流域の河川の水質の保全及び改善に努める</u>。 <p>(6) 安全・安心を実感できる地域社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地震に対する減災のため、<u>公共施設等の耐震化</u>を推進するとともに、震災後の救援、復興活動のための<u>緊急輸送道路の整備</u>を検討する。 ○ 治水、利水を推進するため、<u>川上ダムの建設促進</u>を図るとともに、<u>伊賀水道用水供給事業等水道施設の整備</u>を進める。 	